

# 僕等がいた

前篇  
後篇

それでも、  
永遠だと  
信じたかった——。

生田斗真 + 吉高由里子

高岡蒼甫 本仮屋ユイカ 小松彩夏 柄本祐  
比嘉愛未 須藤理彩 麻生祐未

監督:三木孝浩 原作:小畑友紀(小学館「月刊ベツコミ」連載) 脚本:吉田智子 音楽:松谷卓

1000万部突破——大ベストセラー純愛コミックス待望の映画化

3.17 SAT 前篇 4.21 SAT 後篇

http://bokura-movie.com



# 僕等がいた

前篇  
+  
後篇

この、ずっと続く空の下…

今どこにいますか?

最後に私を思い出したのは

いつですか?

今、誰を愛していますか??:

何度も失敗や間違いを繰り返し、

あの頃、私たちは  
確かにここにいた。

それでも、永遠があると信じてた——。

生田斗真 + 吉高由里子

高岡蒼甫 本仮屋ユイカ 小松彩夏 柄本祐  
比嘉愛未 須藤理彩 麻生祐未



©2012「僕等がいた」製作委員会  
©2002 小畑友紀/小学館  
<http://bokura-movie.com>

「僕等がいた」モバイル公式サイト



あなたと出会い、失い、最愛を信じた永遠の純愛ストーリー

3.17 SAT 前篇 4.21 SAT 後篇

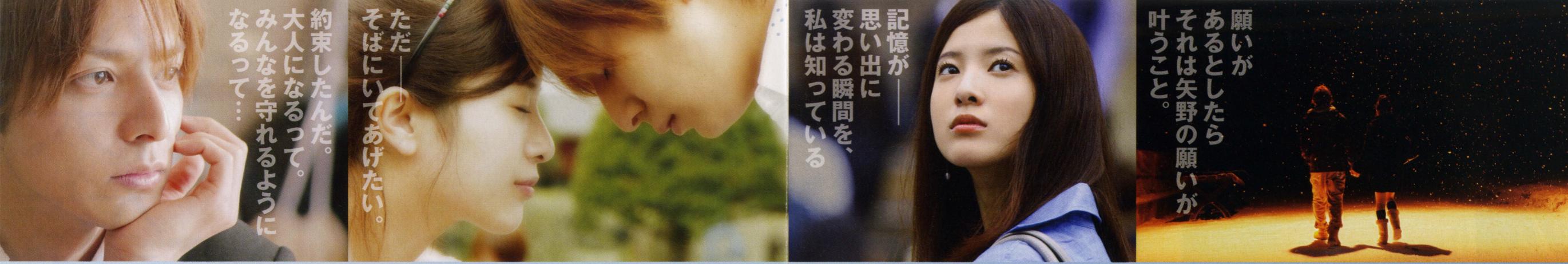
2部作連続ロードショー

劇場内での映画の  
撮影・録音は犯罪です。  
映画盗撮の情報提供は  
[www.eigakan.org](http://www.eigakan.org)  
0120-550098

製作:市川南 豊島雅郎 小林昭夫 都築伸一郎 藤島ジュリーK. 真中達郎 製作統括:塙田泰浩 企画プロデュース:荒木美也子 春名廉 白井央 プロデューサー:川田尚広 山崎倫明  
プロダクション統括:金澤清美 撮影:山田康介 美術:花谷秀文 錄音:矢野正人 照明:川辺隆之 編集:坂東直哉 助監督:猪俣弘之 製作担当:森悦子  
製作:東宝 アスミック・エース エンタテインメント 博報堂DYメディアパートナーズ 小学館 ジェイ・ストーム アミーズ 製作プロダクション:東宝映画 配給:東宝 アスミック・エース

©2012「僕等がいた」製作委員会

©2002 小畑友紀/小学館



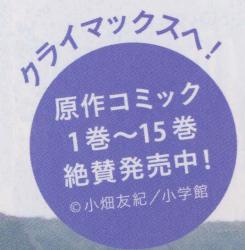
# あなたと出会い、失い、最愛を信じた永遠の純愛ストーリー

ふと想う…あの輝いてた二人の時間を、永遠があると信じたまぶしい季節を。僕等がいた、あの場所を……。

高校生から社会人への青春の過渡期、北海道→東京を舞台に、純粋で繊細なふたりが織りなす壮大な“純愛回想録”。決して揺らぐことなく、迷い苦しみながらも相手を想い続け、やがて不条理な運命すらも変えようとする最愛を描いた、新たなラブストーリーが誕生しました。

原作は累計1000万部を突破し、10年にわたり愛され続けてきた小畠友紀による大人気コミック「僕等がいた」。クラスの人気者でありながら、心に影を持つ矢野元晴役には、人気・実力ともにこれから映画界・演劇界を担う、注目の俳優、生田斗真。矢野に惹かれ、どんな状況でも一途に想い続ける高橋七美役には、圧倒的な個性を放つ若き演技派女優、吉高由里子。いま最も次回作が望まれる二人の初共演が実現。さらに高岡蒼甫、本仮屋ユイカ、比嘉愛未といった若手実力派俳優たちが、ふたりの“切なく”も“愛おしい”恋愛模様に重要な役割を担う同級生役として作品に輝きを加えています。

きらめく初恋と切ない青春群像を描いた“出会い”的前篇と、誓った未来を願い、想いを貫く“運命”的後篇——2部作でなければ描くことができなかつた“6年間の意味”と“彼らの祈り”——永遠の純愛ストーリー『僕等がいた』は2012年3月、4月〈前後編〉連続公開！



## 僕等がいた 人物相関図



神様——どうか、彼を守ってください。

……それが、私の祈りでした。

## STORY

北海道・釧路——。クラスメイトの結婚式で故郷に帰った高橋七美は、廃校となる母校の屋上にひとり立っていた。目を閉じると、あの頃のまぶしい記憶が浮かび上がる——。

高2の新学期、七美は矢野元晴とこの屋上で出会った。クラスの女子のほとんどが好きになる人気者だが、時折さびしげな表情を浮かべる矢野に、七美もいつしか惹かれていく。矢野の親友・竹内から、矢野が死別した年上の恋人・奈々との過去を引きずっていると聞き、思い悩む七美だが、矢野への想いがおさえきれなくなり、生まれて初めての告白を……。一途な想いを貫く七美に対し、矢野は少しずつだが心を開いていく。しかし奈々の幻影と、矢野に想いを寄せる奈々の妹・有里の存在が、ふたりの間に立ちふさがる。互いに想いをぶつけ合い傷つきながらも、ついに未来を誓いあうふたり。しかし、幸せな日々もつかの間、矢野は東京へ転校することになり、更なる試練が襲いかかる……。

6年後、東京——。大学を卒業し出版社に勤め、忙しい日々を送る七美。七美的そばには、矢野ではなく、彼女を見守り支え続けてきた竹内の姿があった。ある日のこと、七美の出版社の同僚で、矢野の転校先の同級生だった千見寺から、矢野を目撃したと告げられる。空白の6年間に矢野に何が起ったのか？なぜ七美の前から姿を消したのか？矢野への想いと竹内の愛情のあいだで揺れる七美。迷いながらも、七美はある決心をする……。

まばゆいばかりの初恋を描く“出会い”的前篇 誓った未来を貫く“運命”的後篇。2部作連続で贈る 切なくも愛おしい壮大なラブストーリー

